

## Semester留学便り 11月 (引率教員版)

早いもので11月も終わり、Semester留学もあと一ヶ月を切りました。この一ヶ月を振り返ります。

### 【行事など】

- 3日(日) 餃子作り①
- 12日(月) 中間試験(第三回)
- 17日(日) 餃子作り②
- 24日(土) バドミントン大会
- 28日(水) 万里の長城観光
- 30日(金) 中国語コンテスト

餃子作り①②というのは、天津に住む日本語教師のご厚意で、ご自宅に伺って南開大学系列校浜海学院日本語科の学生と交流しながら餃子を作る、という企画です。場所の都合上人数の制約があり、残念ながら希望者全員が参加することはできませんでしたが、中国人の調理法を直に知るよい機会となりました。

また、月末には中国語コンテストがあり、選ばれた学生は12月あたりの試験を控えながらも「三句半」という中国民間演芸にとりくみました。

### 【課外活動について】

中止となっていた今年度の課外活動ですが、11月後半になって実現しました。ただし、安全面を考慮して平日に日帰りで行う形式となりました。漢語言文化学院からは小班の先生方が引率につき、また中国語ガイド付きとしたため、日本人の団体行動ながらも中国語を使えるよい機会になりました。

また、漢語言文化学院の先生方が「生活が単調だろうから」と企画したのが、インドネシアの留学生とのバドミントン大会です。インドネシアから國學院のSemester留学と同様の形式で集団留学している学生達ですが、同じ宿舎に住んでいるため普段から交流があります。

インドネシア側は男子が多く、インドネシアと國學院の男女混合ダブルスと、インドネシアと國學院の男子ダブルスの2種類がトーナメント形式で行われました。インドネシア側は応援といい、試合運びといい、気合いが入っており、こちらはやや圧倒された感があるものの、大いに盛り上がりました。

### 【学修面・生活面】

言葉にも生活にもだいぶ慣れてきた頃です。三回目の中間試験がありましたが、最初の試験に不合格だった学生にも大きな進歩が見られるようになり、本人は勿論のこと担当の先生方も喜んでいました。

また、この頃から、長期留学を考える学生も出てきました。セメスター留学参加前から長期留学を視野に入れている学生もいれば、こちらに来てから「四ヶ月では足りない」と思い長期留学を考え始める学生もいます。再度の留学を考えないまでも、中国語の面白さや中国での生活の楽しさを感じる学生も多いようです。

一方、だんだん寒さが厳しくなり、体調を崩しがちにもなります。11月の終わりには雪も降りました。12月になるとますます寒くなりますが、元気に帰国して欲しいと思います。

(引率者 佐川)